

## さいこうのおかあさん

能美にな

わたしのおかあさんは、しごとをしています。わたしはがつこうのあと、おばあちゃんので、いえでおかあさんのかえりをまちます。おかあさんの「おかえり」のこえがきけないので、ときどきさみしくなることがあります。

おかあさんとわたしには「一つやくそくがあります。それは「おかあさんがみにくるぎょうじはかならず「ばんまえてみる」こと」です。

きよねん、はつびようかいでげきをすることになりました。わたしは、ずっとやりたかったでんしのやくをすることになりました。やくのはつびようのときには、とびあがつてなみだがでるほどうれしかったのに、かえりみち、すこしふあんになってきました。てんしはスポーツライトをあびて、「一人でうたいます。じつはわたしは、うたががてなのです。おかあさんがかえつてすぐ、てんしになったことをいいました。おかあさんは、「やったね。ぜったい「ばんまえてみるね」と大よろこびしてくれました。わたしはしょうじきにいいました。「でも、うたがあるの。一人でうたうからふあんなの。」すると、「じゃあママと「しよにれんしゅうしよう。」といてってくれました。そしてせん生にがくふをもらい、まい日、やすみの日もだんだん上ずになってきて、せん生にほめられることができてきました。こころのなかにつたくりいふあんがすっかりきえてしまったように、わたしはうたをうたうのがたのしくなってきました。

いよいよ本ばんです。きえていたとおもつたふあんが、またすこしかおをだしました。きんちようで、のどがギュツとつぶされたようです。きやくせきはまつくらでしたが、ぶたいのひかりでまへのほうのおきやくさんだけはみえました。「ばんまえにおかあさんがいます。そしてわたしをみて、大きくうなずきました。それをみるときゅうに力がわいてきました。まるでここにちよくせつスポーツライトをあてたようです。そして、れんしゅうしたせいかをきいてほしいというつよいきもちがうまれてきました。むちゅうでうたうとたくさんはくしゆをもらえました。うれしくて、このままてんしのはねでとんでいけそうなきがしました。

かえったら、おかあさんが「いままで「ばん上ずだったよ」とほめてくれました。そして「しゅえんじよゆうしよう」とかいた、てづくりの金いろのトロフィーをくれました。トロフィーは、うたうときのわたしとおなじポーズをしていました。

まい日の「おかえり」がなくても、大じなときにはいつもいてくれるわたしのおかあさん。きょうもしごとからぶじにかえつてきてね。わたしが「さいこうおかあさんしよう」をじゆんびして、「おかえり」っていうよ。